

日中友好新聞

府連通信

2024年8月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

大阪府連 新会長挨拶 山本 恒人

民が官を促す日中友好運動を

青・壮年時代から大阪城「城いいたしませう」を名乗り、文革時代の干渉と混乱から大阪府連合会を守り抜いて、日中友好運動のシンボルだった渡辺武さん。20年におよぶ大阪府連合会を退かれ、先日の全国大会、府連大会をもつて中央本部と大阪府連の顧問に就任されました。広い視野から長年ご指導いただいたこと、心から感謝申し上げます。

今「中国の発展が自らの危機」と怖れるアメリカは、東アジアにや全世界から中国を排除する「対中国分断・包囲」に全力を注いでいます。これにいち早く飛びついたので故安倍首相の「台湾有事は日本の有事」論でこれを受けて岸田政権は「敵基地攻撃能力保有」という憲法違反の大軍拡を推進しています。

協会仲間のみならずは各支部で例会や役員会を欠かさず、女性部交流、帰国者支援、太極拳・切り絵講習、中国語学習、百科検定など多彩にとりくみ、常に友好新聞や府連通信の紙面をにぎわしています。

ひとりひとりが楽しく、のびのびと過ごせる日中友好協会の輪の仲間から、私はいつも元気をもらっています。

久方ぶりの女性副会長浅田美奈子さんと手を携え、みんなで協力を大きくし、若い世代にバトンタッチできるように努力して参ります。ともどもよろしくお願



第3回常任理事会 8月7日(水) 2時

7月7日の大阪府連大会には、22団体からメッセージを頂きました。兵庫県連前田清会長が「民間レベルで交流行い友好を促進し嫌中論を乗り越えよう」と来賓挨拶されました。12名が支部活動などについて発言しました。

おしゃべりタイムが好評

関西女性交流会 初の開催

7月15日、第1回関西ブロック女性交流会が開催されました。「集まっておしゃべりして元気になる」と36人が参加。開催地大阪の各支部の皆さんが、演奏と太極拳表演で他府県連の皆さんを歓迎して下さいました。

中河内支部音楽団の歓迎演奏で、会場は一気に中国の雰囲気。一緒に口ずさむ人もいました。大阪西支部の太極拳表演に見入っていた方、お聞きすると太極拳の実演を見るのは初めて。また最近太極拳を始めた方は、表演を写真に収めていました。太極拳の世界を体験しようタイムでは、身体が軽くなつてびっくり。

記念講演は府連会長の山本恒人さんの「女性たちは戦争を許さない 長谷川テルの勇気に学ぶ」です。あらたな戦前に向かつて行きそうな2024年に、テルや戦争の中を生きた女性たちを紹介した本、小林エリカさんの『彼女たちの戦争 嵐の中のささやきよ!』を基に、テルの生き方をお話していただきました。

「女性たちのささやきに希望



がある」「ささやいた場所はどこであつたのだろうか」「その声は、はたからどう見えていたか」「しかしそのささやきは届けられていない」と、女性交流会の門出を励ましていただきました。

プログラムの後半は、交流・おしゃべりタイムです。自己紹介の後、各府県連支部でどんなことをしているのか、女性交流会に期待することを、おしゃべりしました。

兵庫からは交流会の2日前に行われた中国百科検定試験に、小学5年生の女生徒が初級を、母親が3級を受験したというお話がありました。若い世代へ積極的に働きかけたいと張り切っておられます。

皆さんに共通しているなど感

「私の支部でも楽しいことをやりたい！」と嬉しい発言が続きました。

アンケートでは「率直な発言を聞いて、こういう会ならもっと参加が増えるのでは」「いろいろ聞けて楽しい。やっぱおしゃべりはいいですね」「次は中華街でやりたい」「帰国者の方のお話しもあって、良かった。中国の人の話しも聞きたい」「漢方の話しを希望します」「若い女性の参加がうれしい」などなど、皆さんのたくさんの思いが綴られていました。

(関西ブロック女性部交流会事務局)

城北支部 連日の行動で

府連大会までに70名会員を達成

城北支部は結成5周年を迎えました。結成時から会員増やしを重視し、月1回の役員会ではレジメの冒頭部分に支部現勢を示し、前回から誰に入会を訴えたか、これから誰に訴えようとしているのか対象者を出し合ってきました。

この間50名突破、60名突破の節目を全会員の奮闘でやり切ってきました。その経験を発展させ今年秋の支部総会までに70名会員に到達する目標を掲げ取り組んできましたが、6月21日の役員会で現勢63人を確認し目標を前倒して府連大会(7月7日)までに一気に70名達成することを確認しました。

役員会議開始前に事務所に来られたKさんに西脇さんが入会の呼びかけをして入会していたのを皮切りに、健康診断で血液採取中に看護師さんに入会を訴えるなどあらゆる機会に声をかけ、その結果をみんなで見せ、看護師さんは診察に行ったとき、私にチョットと声を掛け心電室で「清水ただしさんが日中の国民同士が仲良くすること大事との話を聞き佐藤さんの言っていたことだと思った、中国への関心が高まったので新聞購読だけでも良いのであれば入会する。」と言って準会員になりました。支部は2週間で7人

(正会員2人、準会員5人)を増やしました。この2週間は異常な熱気が支部を包み「あと何人！」が合言葉のように伝播し最後は「あと1人！」と、7月4日の国民平和大行進の参加者が入会してくれ70名の目標をやり切ることが出来、平和行進後に乾杯をしました。

入会した7人は、全て以前から入会の声かけをしていた人で断られていました。それが今回入会に至ったことを私なりに分析すると、情勢の進展があると思えます。

岸田自公政権と維新などの補完勢力が大軍拡路線を暴走し、中国包囲網のもと台湾有事が喧伝され、南西諸島(与那国島、宮古島、沖縄など)の軍事要塞化が急速に進み、日本がアメリカの盾となつて戦争に巻き込まれる危険が現実味を帯びてくる

- 行事案内**
- 陳式太極拳講習会 第5期生募集 月1回日曜日 9時
 - 大阪北スポーツ体育館 第5期第4回 8月18日
 - 漢詩講座 陶淵明 下定雅弘講師 日本杜甫学会前会長 後期は9月23日から 国労大阪会館
 - 堺平和のための戦争展 8月3日11時から 8月4日10時から サンスクエア堺 JR堺市駅前

府連大会退任挨拶 渡辺 武

真の草の根の友好運動は永遠の宝

長い間、日中友好協会の重要な参加を大切な役割に就かせていただき、十人生の課題を考分な役割を果たせないうまま、今、1964年2024年、心身の劣化による入会以来60年退任の時期を迎えました。大も続けてこれた阪府連会長に就任したのが2005年、それを今、05年。以来19年。その間、10改めて熟考して年間ほど本部副会長も兼任させているところです。いただきました。

最後に一言

正直なところ、私は、中国の権力者・支配歴史・文化・政治経済・日中関係者・支配層・貴族等についての専門的な知識も民族は必ず腐敗し、見識も全く不十分で、日中友好道を誤る一庶民・民衆・人民の平和・自由・運動のリーダーとしてはきわめ豊かな暮らしを希い、日中両国て不適切な人間であつたと反省の庶民・民衆・人民同志の信頼・せざるをえません。

それにもかかわらず、私が何友好交流の促進をはかる真の草故長年にわたり日中友好運動への根の友好運動は永遠の宝。



西支部 西区9条駅前で77 宣伝行動

大阪西支部は7月12日雨上として現在訴えているのです。がりの夕刻、コロナ禍を乗り越えて4年ぶりに中国大阪領事館近くの地下鉄九条駅前近

7・7運動を行いました。私たちの訴えをじつと聞いていた高校生、日本に中国と宣伝と本部作成チラシを戦争仲良くしようとしているグループがあること初めて知りまし

ながら12人で道行く方々へ配布しました。日中友好旗をじつと観ていた中国人、これは何ですか？私たちが過去を反省して二度々侵略をしてはならないと誓っている団体で、チラシにも書いていますように7月7日から9月18日を平和運動月間



あることが聞かえ、台湾有事に絶対させてはならないと、数名がわざわざチラシを取りに来てくれたりと、多様な反応があり楽しい有意義な宣伝活動が出来ました。(平松悦雄)

中河内支部 太極拳教室に取り組む

日中友好協会の太極拳教室を年支部再建を機に3名の会員で、知ったのは24年前のことです。支部行事として太極拳教室を取り組むことになった

新婦人新聞に日中友好協会の松田英子先生による太極拳の紹介記事を見てからです。本場の太極拳を学びたいと本部に連絡し大阪の教室を知ったのです。2000年月4月友人と難波教室へ通い、2012



後半は30分扇の練習です。月3回、第1・2・3日曜日の10時から11時半、会場は英田公民館分館、近鉄花園駅から8分。(栗山俊子)

中国百科検定 受験者に寄り添って

7月13日、第15回中国百科検定大阪会場には9名が受験しました。中国百科検定試験は初級、3級、2級、1級、特級と5段階に分かれて行われます。私はこれまで幾度か試験監督者補助として、試験会場に出向いたことがあります。

会場では受験者皆さんの緊張感が伝わってきて、こちらも緊張し慣れる事はありません。例えば当日は派手な色の服装はしないとか、コツコツ音の出る靴は履かない、化粧品は臭いはさせないなど気を遣っています。受付が始まると着席場所が正しいか、机の上の受験票・鉛筆の替え・消しゴム



終了の合図で回答用紙を集める際には、「お疲れさまでした」と声をかけさせていたでいます。先日百科検定にお母さんと小学5年生の子どもさんが、揃って受験！のお話を聞きました。「親子で百科検定」を大阪の会場で出会いたいなあと思っています。(西支部 平澤京子)

女性部 ラブリー中国世界遺産学習会

7月21日女性部学習会「世界遺産」の3回目は10名の参加者の内、初参加2名を迎えて和やかな会になりました。今回は自然遺産2ヶ所(中国南部カルスト、九寨溝)文化遺産2ヶ所(紅河ハニ棚田、青城山と都江堰)を巡り、その土地に生活する少数民族について学びました。



学習での興味あるお話は尽きることなく「カルスト地形の成り立ち」「棚田の作り方」「水路の仕組み・土木技術の発達」「宗教者を大切にするチベット族」「日本の弥生人のDNAと似ているハニ族」。少数民族の学習では、中国

12月に中国残留日本人2世支援集会

日中友好新聞2面に連載されたいへん好評だった『中国残留日本人・中国帰国者の人生が問いかけること』(浅野慎一撰南大学教授)が6月で終了しました。切り抜きにしたり、コピーを取ったりして熟読している人

日本が中国へ移民として送り込み、敗戦後、中国からの帰国に消極的だったのではなく「現地土着」など、積極的に帰国を拒絶したこと、苦勞して帰国してからもまともな支援を行わなかったことがよく分かりました。(石井勉)